



小谷博徳 議員

子育て支援策は万全か

町営バス通園は

小谷 女性の社会進出は社会のすう勢、男女共同参画推進は行政の責務。そこに子育て支援があり若者定住のまちづくりがある。

町長の裁量で運行ができる町営バスで、通園困難世帯の問題解決はできないか。

そういう世帯に光を当てることが子育て支援とと思うが町長の考えを聞きたい。

町長 通園手段に町営バスの利用という声もある。しかし現状は時間的やりくり、バスの乗者数が満杯、バスの購入財源等により、通園は保護者で行って頂くことにした。

送迎できない家庭の線引きもむつかしく保護者送迎にご理解を頂きたい。

小谷 六十数名のアンケートで明らかとなったことがある。江府町「子供の国保育園」に預けて働いておられる家庭がある。

出勤時間を会社の理解で変更し、勤務が継続できた。帰りは日南町の母親が迎えに来ている。

真住地区では一日がかりで送迎しているお母さんがある。町長はこういう子育ての実

態を承知した上で、解消に向けた対策を講じているか。

町長 そういう事実をよく理解している。

行政としてどこまでできる

るか、保護者の皆さんの意見も聞き保育時間を十五分ずつ前後に延長して、朝七時三十分より入所、午後十八時十五分退所と設定した。

保育時間の幅を持たすことで保育に欠ける家庭の通園対策の一つとした。

児童福祉法の整合性

小谷 児童福祉法二十四条は保育に欠ける子供の優先入所を定めている。三十九条は日々保護者の委託を受けて預

かると定めてある。

保育に欠ける家庭は、八時に預け十六時の迎えでは、福祉法との整合性に疑問を持つ。

町長 朝、保護者から健康状態などをお聞きしてお預かりする。退所時には一日の生活状況等を保護者にお伝えする。保育時間に幅を持たせたので整合性について問題はないと

考えている。

どんな制度を作っても利用がないと灯が消えてしまう。保護者の都合でもう少し長く

みてほしいという意見でもあれば十分検討したい。

統合を機に安心して預けられる質の高い保育所にしていこうと、職員一同話し合いを進めている。



子育て支援対策に町営バスの有効活用を

次の定例会は
3月です。

傍聴にお出かけください。

議会事務局 (72-0335)

通院千円～二千円までの一割負担をするもの。
また特定疾病患者、乳幼児、一人親家庭の支給制限は現行どおり。
入院にかかる自己負担は、月額負担に上限を設け、軽減を図るもの。

日野町国民健康保険税条例の一部改正

満六十五歳以上七十四歳未満の老齢年金受給者の世帯主に特別徴収するもの。
年額十八万円以下、介護保険料等、国民保険税との合計額が年金受給額の二分の一を超すなど一定の基準を満たさない者からの特別徴収はできない。